

(令和5年度 第3回瀬戸市ICT活用・DX推進協議会 資料)

# 「DX重点取り組み事項」及び 「瀬戸市ICT戦略推進プラン・官民データ活用推進計画」 の進捗状況

令和6年3月15日

瀬戸市 経営戦略部 情報政策課

※本資料では「DX重点取り組み事項」「瀬戸市ICT戦略推進プラン・官民データ活用推進計画」の順番でご説明しています。

※資料内の記述で「R4」は令和4年度で4年4月1日～5年3月31日の期間、「R5」は令和5年度で5年4月1日～6年3月31日の期間として瀬戸市役所における会計年度となります。

※各取り組みの指標の今回実績は原則令和6年1月又は2月末迄の集計として、下記のとおりスライド中の右の楕円の記載値が該当します。



# 1 「DX重点取組み事項」の進捗状況

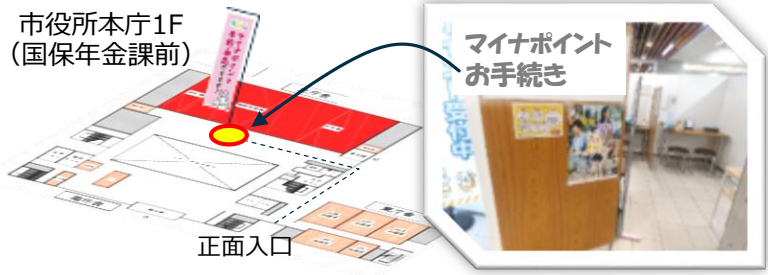
重点取組み事項		
狙い・目的	取組み概要（R4年度実績・R5年度計画）	推進課／関係課
行政サービス向上・市民生活の利便性向上 「住みたいまち」づくり	<b>1 マイナンバーカード普及促進・利活用</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：マイナンバーカードを活用した行政手続きオンライン化の拡充</li> <li>・R5：マイナP窓口運用、オンライン化手続き運用、カード利活用施策の企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象業務を担う原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>2 あいち電子申請・届出システム利用促進</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：適用ニーズ深耕・ノウハウ展開</li> <li>・R5：原課の活用事例をロールモデルにした利用促進・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象業務を担う原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>3 各種証明書のコンビニエンスストア交付拡充</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：コンビニエンスストア交付運用、本庁マルチコピー機設置・運用</li> <li>・R5：上記の継続運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>4 行政サービスのキャッシュレス決済拡大</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：施設予約のキャッシュレス対応検討、ノバルティ・こども創造館への導入</li> <li>・R5：キャッシュレスを導入する原課・公所への展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレスを運用する原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>5 AIチャットボットによる総合案内サービス運用</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：回答データの拡充による応答精度の向上、市の新公式HPへの移行</li> <li>・R5：回答データのメンテナンス・拡充と運用改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CBの回答登録を行う原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>6 情報発信アプリの利用促進</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：原課等の依頼による情報発信、アプリ「せとまちナビ」次期システムの検討</li> <li>・R5：LINE+カナメトによる新基盤への移行（次期アプリ稼働）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報政策課</li> <li>・発信情報を提供する原課</li> </ul>
	<b>7 オープンデータの提供と利用促進</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：国の推奨データセットへの適用検討</li> <li>・R5：国の標準データセットの適用、市HPからの便利地図連携の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報政策課</li> <li>・オープンデータ提供をする原課</li> </ul>
	<b>8 ICT支援施設（DRPC）利用促進</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：次世代デジタルクリエイター育成、教職員向けプログラミング研修他の実施</li> <li>・R5：上記の継続推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報政策課</li> <li>・デジタルパークリサーチセンター</li> </ul>
	<b>9 デジタルデバйд対策</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：DRPC地域ICTサポーター育成・高齢者デジタルデバйд対策の推進 国のデジタル活用支援推進事業の利用</li> <li>・R5：上記の継続推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協働課</li> <li>・デジタルパークリサーチセンター</li> <li>・協力団体</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>10 メタバース「バーチャル瀬戸」を活用した地域振興</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：「バーチャル瀬戸」の開発と整備運営、公開イベントの開催</li> <li>・R5：「バーチャル瀬戸」を各組織・団体で共同運用するスキームの企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報政策課</li> <li>・バーチャル瀬戸を活用する原課・協力団体</li> </ul>

重点取組み事項		
狙い・目的	取組み概要（R4年度実績・R5年度計画）	推進課／関係課
行政事務効率化・働き方改革・対面機会削減 「働きやすい職場」づくり	<b>11 Wi-Fi環境整備</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：本庁Wi-Fi端末の配布、庁外施設Wi-FiのAP敷設・端末の配布、議会資料閲覧システムの展開（ペーパーレス化）、ICT活用知識の啓発</li> <li>・R5：事務効率化に資するWi-Fi端末のさらなる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiを利用する原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>12 Web会議環境整備</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：多人数配信環境の導入検討、ハイブリッド会議機器の導入・運用</li> <li>・R5：多人数配信環境の導入、会議音声テキスト化するシステムの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン会議を行う原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>13 テレワーク環境整備</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：テレワーク端末運用／活用検証による次年度配備の検討</li> <li>・R5：在宅勤務以外の活用方法に関する情報収集と周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク端末を利用する原課</li> <li>・情報政策課</li> <li>・人事課</li> </ul>
	<b>14 文書管理システム（電子決裁）展開</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：ファイリングシステムの展開と文書管理システムのリーディング課運用</li> <li>・R5：ファイリングシステム運用・文書管理システム全庁展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政課</li> <li>・全課</li> </ul>
	<b>15 行政実務へのRPA適用</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：操作研修の実施、庁内ニーズの確認</li> <li>・R5：業務適用支援の強化とモデルケース等の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象業務に適用する原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>16 AI-OCR適用</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：機器導入と機能確認、庁内ニーズの確認</li> <li>・R5：業務適用支援の強化とモデルケース等の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象業務に適用する原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>
	<b>17 システムの標準化・共通化</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4：移行体制の構築とシステム導入準備（ベンダーヒアリング）</li> <li>・R5：移行プロジェクト推進（フィット&amp;ギャップ調査・作業洗い出し・移行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを利用する原課</li> <li>・情報政策課</li> </ul>

（「瀬戸市DX 重点取組み事項のロードマップ 令和5年度版」の全取組み事項の記述部分）

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績					令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間		
取り組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月
<b>1 マイナンバーカード普及促進・利活用</b> ・R4: マイナンバーカードを活用した行政手続きオンライン化の拡充 ・R5: マイナP窓口運用、オンライン化手続き運用、カード利活用施策の企画		・対象業務を担う原課 ・情報政策課		マイポイント窓口運用 手続きオンライン化構築 自治体マイナP調査	・マイナポータルでのオンライン手続き実装数 →転出・転入4手続(2/6運用開始) →子育て15、介護11手続(4/1運用開始)			市民向けマイポイント申請支援窓口の運用	マイナポータルびったりサービスの対象手続きの運用	庁内関係課横断のプロジェクトチームによるマイナンバーカード利活用施策の企画		

### マイナポイント申請支援ブース運営



利用者数  
**10,126人**

※当ブースは9月30日を以って終了しました。

ありがとうございました

参考: ブース全運営期間(R4年4月~R5年9月)の累計: 36,411人

### マイナカードのオンライン申請「ぴったりサービス」利用

#### 子育て関係

- 1 児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求
- 2 児童手当等の額の改定の請求及び届出
- 3 氏名変更/住所変更等の届出
- 4 受給事由消滅の届出
- 5 未支払の児童手当等の請求
- 6 児童手当に係る寄附の申出
- 7 児童手当に係る寄附変更等の申出
- 8 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出
- 9 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出
- 10 児童手当等の現況届
- 11 支給認定の申請
- 12 保育施設等の利用申込
- 13 保育施設等の現況届
- 14 児童扶養手当の現況届の事前送信
- 15 妊娠の届出

#### 介護関係

- 1 要介護・要支援認定の申請
- 2 要介護・要支援更新認定の申請
- 3 要介護・要支援状態区分変更認定の申請
- 4 居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出
- 5 介護保険負担割合証の再交付申請
- 6 被保険者証の再交付申請
- 7 高額介護(予防)サービス費の支給申請
- 8 介護保険負担限度額認定申請
- 9 居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請
- 10 居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請
- 11 住所移転後の要介護・要支援認定申請

#### 転出・転入関係

- 1 転入届
- 2 転居届
- 3 マイナンバーカードの住所変更・署名用電子証明書の発行
- 4 印鑑登録

#### その他

消防用設備等点検結果報告など



重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績					令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間		
取り組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月
<b>2 あいち電子申請・届出システム利用促進</b> ・R4: 適用コース深耕・ノウハウ展開 ・R5: 原課の活用事例をロールモデルにした利用促進・支援		・対象業務を担う原課 ・情報政策課		マニュアル整備・原課による構築支援(ノウハウ展開)			・あいち電子申請・届出システム構築例 →公立保育園の見学申込み →税務課の家屋調査依頼申込み →デジタルまつりの来場者体調子チェック	システムの利用(申請・届出事案の登録)を希望する原課の支援				

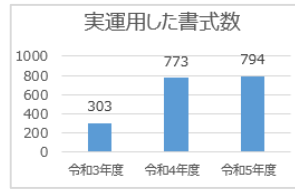
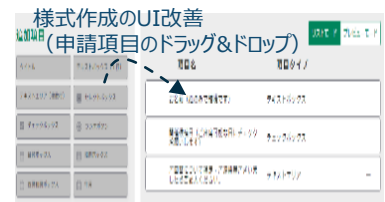
### 原課による活用ケースの定着化



公立保育園の見学や異年齢交流会の申込みは定着(毎月運用)。受付間違いや従来の電話対応時間削減の効果を得た。

### さらなる利用促進

申請書式作成の使い勝手(UI)も改善され「学校の生徒の保護者向け調査」や「子育て応援給付金/出産応援給付金の申請」など、活用が拡大中。

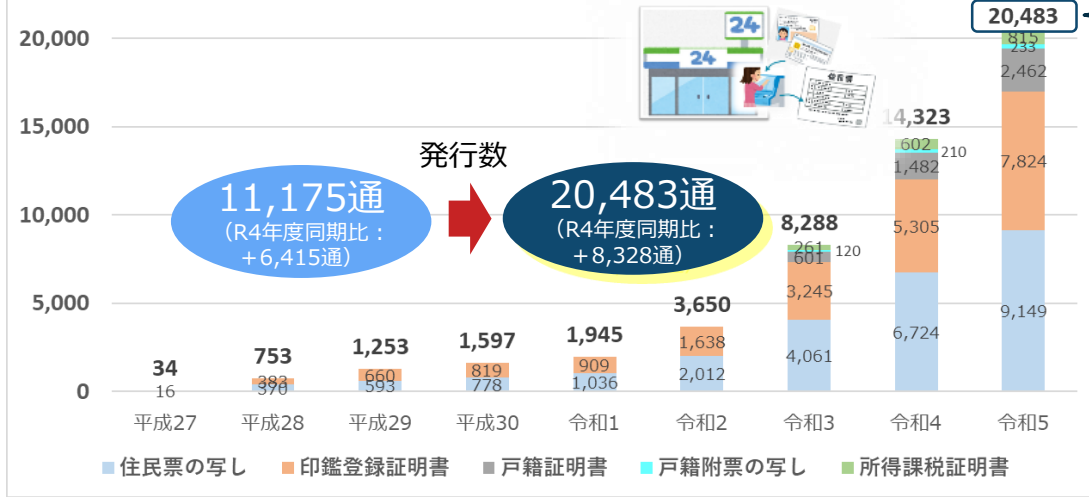


申請・届出総数は26,179件で前年比で2,130件増と電子申請の活用が進展中。

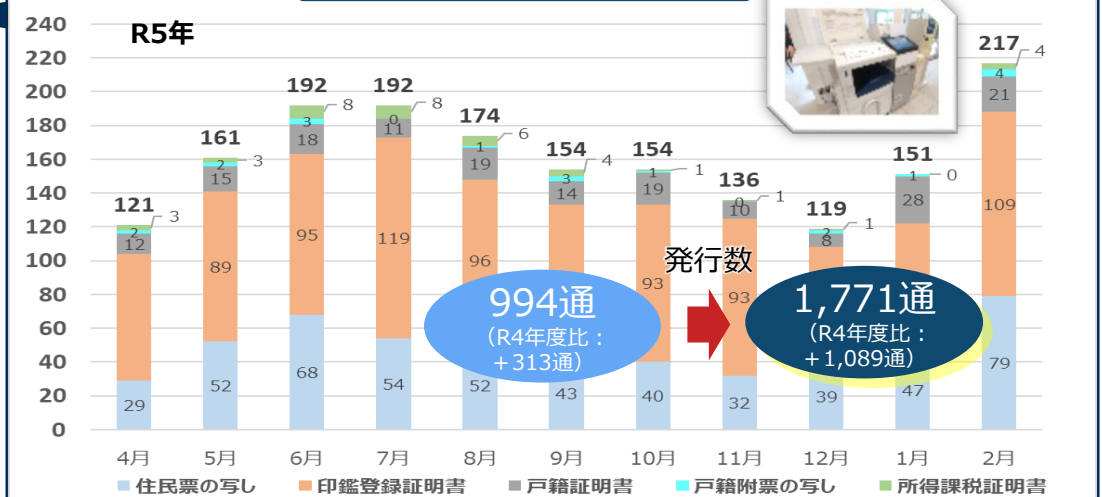
重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス			
<b>3 各種証明書のコンビニストア交付拡充</b>		証明書コンビニ交付運用 マルチコピー機本庁内運用(上記と同機能)				・コンビニストアの証明書交付数 →コンビニストア設置機:14,323通 →本庁設置機:681通			
・市民課 ・情報政策課 ・R4:コンビニストア交付運用、本庁マルチコピー機設置・運用 ・R5:上記の継続運用		6月 9月 12月 3月				証明書コンビニ交付運用 マルチコピー機運用(コンビニ交付と同機能)			

マイナンバーカードの発行台数を増やすために、コンビニエンスストアでの証明書交付機を拡充しています。

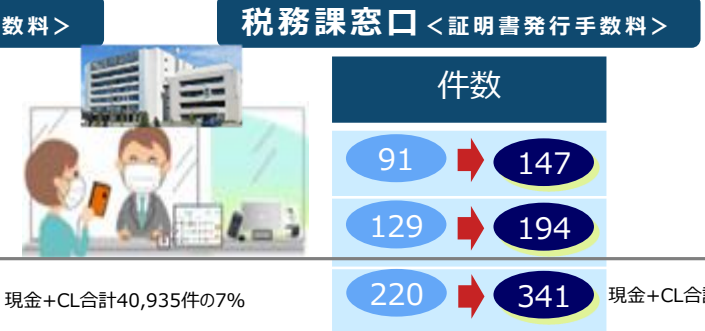
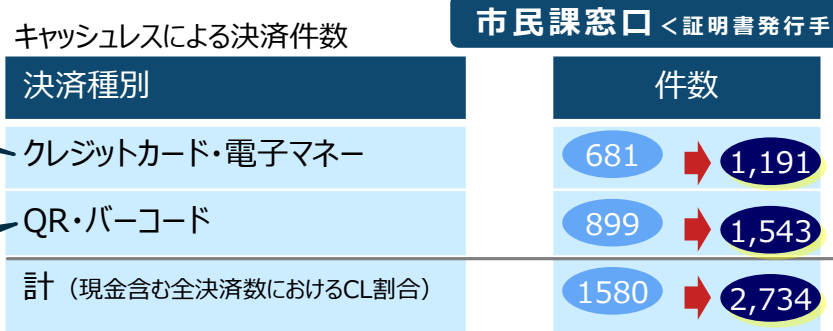
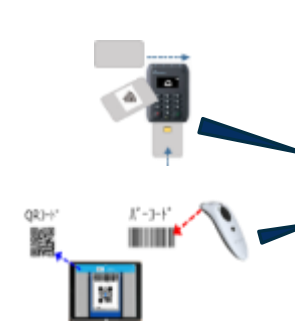
### 全国コンビニエンスストア設置機



### 市役所本庁1F設置機



重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス			
<b>4 行政サービスのキャッシュレス決済拡大</b>		施設予約システム適用検討(県) ハルティ・こども創造館導入準備 税務課・市民課での運用フォロー				・市民課窓口のキャッシュレス決済数 →QR/バーコード:2,028件 →クレジットカード/電子マネー:1,520件 (※他は現金でCL取扱いは全体の約1割)			
・R4:施設予約のキャッシュレス対応検討、ノルティ・こども創造館への導入 ・R5:キャッシュレスを導入する原課・公所への展開		・キャッシュレスを運用する原課 ・情報政策課				施設予約システムCL適用検討会議(県) 税務課・市民課・ノルティ・こども創造館のキャッシュレス決済システムの運用フォロー 他の原課・公所への展開対応(適宜)			



重点取組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間			
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月
<b>5 AIチャットボットによる総合案内サービス運用</b> ・R4: 回答データの拡充による応答精度の向上、市の新公式HPへの移行 ・R5: 回答データのメンテナンス・拡充と運用改善		・CBの回答登録を行う原課 ・情報政策課		回答データのメンテナンス・拡充 市の新HPへの移行				・AIチャットボットによる応答数 →有効な質問投入数:18,835件 →うち正答数:13,799件(正答率73%)	チャットボットの回答データのメンテナンス・拡充と運用改善			

### 回答データのメンテナンス・拡充

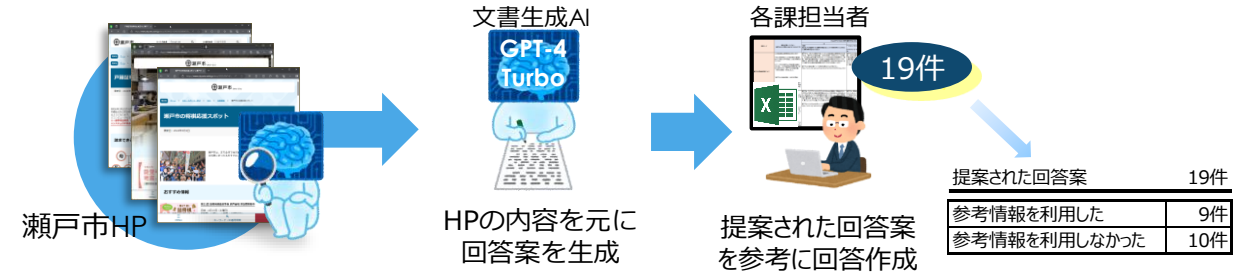
優良工事表彰	耐震事業について	市では、昭和56年5月31日以前の旧基準により建築された木造住宅を対象として、耐震性に不安のある住宅を対象に、県が要請・登録した「木造住宅耐震診断員」を派遣して耐震診断を無料で行っています。  また、市の無料耐震診断を受けた建物について、改修費や解体費の一部を補助する制度がございます(補助の内容によりそれぞれ要件あり)。  詳細は下記URLよりご確認ください。 <a href="https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2014/05/12/00027/">https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2014/05/12/00027/</a>	優良工事表彰について	行政課	7月
水道 名義変更	選択肢表示 水道料金の支払い方法について 水道料金口座振替変更について 原動機付自転車に係る場合の手続きについて		水道の名義変更について	水道課	7月
住民基本台帳カード更新について	選択肢表示 住民票の写しについて 住民票の写し等の交付申請の手数料について 住民票の写し等の取得に関する問い合わせ先について		住民基本台帳カード更新について	市民課	7月

改善に向けた対応

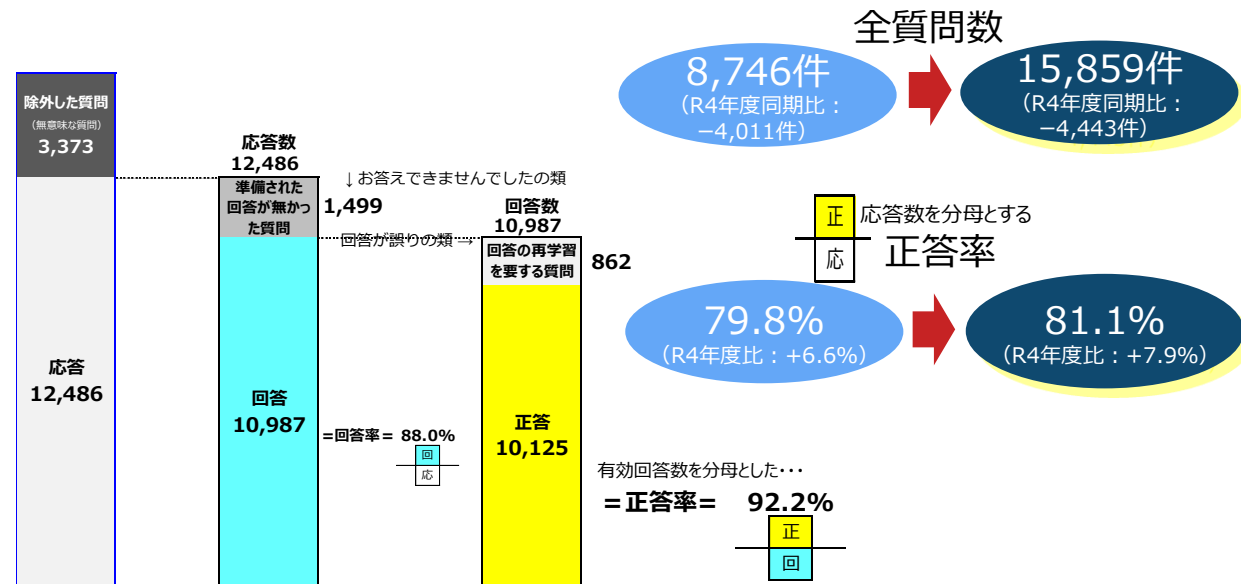
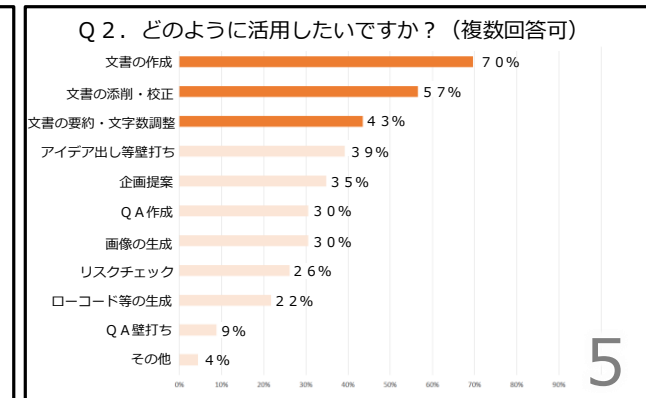
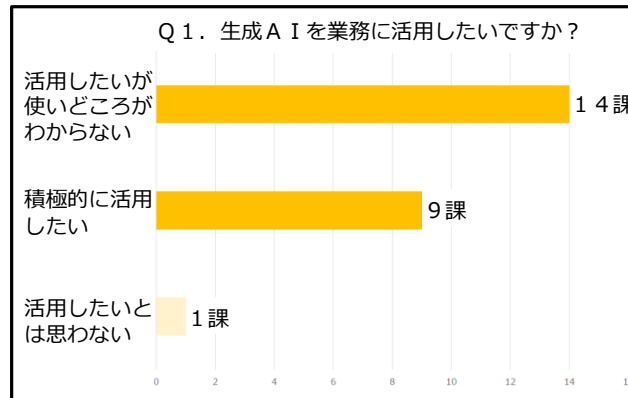
2か月毎に回答を精査し適切な内容を担当課へ依頼

### 文書生成AIの活用による業務効率化

- AIチャットボット回答作成にかかる各課の業務効率化を目的として、文書生成AIによる回答作成のトライアルを実施。  
→実施に際しては、情報政策課で試用しているChatGPT改良版「GPT-4 Turbo」を活用
- しかし、元となる情報が無い状態で生成AIを活用しても、特定の市町の情報には答えられないといった内容やハルシネーション(※)が起きてしまう結果となった。  
※ハルシネーション:生成AIの分野で人工知能(AI)が事実にもとづかない情報や、実際には存在しない情報を生成する現象。「もっともらしいウソ」
- そこで、**瀬戸市HPの掲載記事情報を元にして回答案を作成するよう生成AIに入力することでその問題を解決。作成された回答案を参考情報として各課に提示。**



・文書生成AIの意向調査を併せて実施。



取組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)

推進課/関係課

6 9 12 3 具体的な実施事項・トピックス

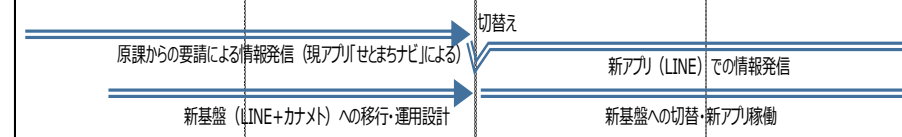
6月 9月 12月 3月

6 情報発信アプリの利用促進

・R4: 原課等の依頼による情報発信、アプリ「せとまちナビ」次期システムの検討  
 ・R5: LINE+カナメトによる新基盤への移行 (次期アプリ稼働)

・情報政策課  
 ・発信情報を提供する原課

原課他からの要請による情報発信 (せとまちナビ)  
 新基盤への移行調査・検討  
 ・原課の依頼による情報発信数  
 →消防本部、まちづくり協働課等より12件  
 ・次期アプリ基盤として比較検討した候補  
 →LINE及び類似アプリの3製品



旧基盤：アプリ「せとまちナビ」～9/30

情報政策課のサーバーで運用

運用7年間の  
アプリダウンロード数  
11,727回  
ありがとうございました

9/1～瀬戸市LINE公式アカウントリニューアル開設 (従来版を機能強化)

マルチメニューでサービス充実化

公式アカウントの友だち登録数 (人)

8/23広報前: 6,315 → 8/25広報: 6,409 → 9/1リニューアル: 7,859 → 9/30せとまちナビ終了: 8,491 → 10/30: 9,111 (8/23比+2,796)

→ 3/11: 9,917 (前回報告比+806)

DX推進員を集めた座談会 (2/19～21) において  
 LINE公式アカウントの利用者側と情報発信側 (市) 双方のメリットを説明

→ 3/11: 9,917 (前回報告比+806)

「友だち登録もうすぐ1万人キャンペーン」  
 で登録者および利用の拡大を推進中

・公式アカウントの友だち登録者数が近い将来  
 1万人に到達見込みであることを記念して  
 キャンペーン参加条件を満たした応募者から  
 抽選で30名様に「選べるデジタルギフト」を  
 プレゼント (期間3/1～17)

瀬戸市LINE公式アカウント  
 友だち登録もうすぐ1万人  
 キャンペーン

参加条件  
 ①受信設定を完了  
 ②アンケートに回答

特徴：必要な情報・欲しい情報を選択して受信 (利用者) DX

受信したい情報を選択してください。

あなたが受け取りたい (欲しい) 情報のみ、お届けします。

子ども・子育て (未就学)  
 子ども・子育て (小学生以下)  
 子ども・子育て (中学生以上)  
 イベント・観光  ごみ・環境  健康  
 福祉  安全・防災  くらし  求人  
 市政  市議会  事業向け

メッセージの表示形式 (4種類をケースに応じて使い分け) DX

①テキスト ※1つのメッセージに約1000文字まで可

②画像 ※画像にリンク設定不可

③リッチメッセージ ※画像にリンク設定可  
 ※画像はPNGまたはJPEGで10MB以下、表示サイズは1024px以内で設置

④カルーセル (写真・動画) ※複数の絵・画像を横スクロールして閲覧する。各アイテムにリンク設定可

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間							
取り組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月				
<b>7 オープンデータの提供と利用促進</b> ・R4: 国の推奨データセットへの適用検討 ・R5: 国の標準データセットの適用、市HPくらしの便利地図連携の構築		・情報政策課 ・オープンデータ提供をする原課		国の推奨データセット書式への移行検討 7市町オープンデータ連携会議				・7市町オープンデータ連携会議の活動内容 →推奨データセット対応(共通整備項目の見直し)の検討・情報共有/3回 7市町オープンデータ連携会議					国の標準データセット書式への移行 市HPくらしの便利地図連携の構築			

デジタル庁資料 オープンデータに取り組む地方公共団体数の推移

デジタル庁資料 オープンデータに取り組む地方公共団体数の推移

全国自治体のオープンデータの取組率は81%  
愛知県内では54市町村中36が対応

**国の標準データセットの適用・市HPとの情報連携**

7市町オープンデータ推進会議：第1回(8月18日)・第2回(9月27日)で協議・確認

今年3月にデジタル庁公表の「自治体標準データセット」の書式をベースに、各市町は今年度中のデータ移行完了を目指す

市HP「くらしの便利地図」とのデータ連携  
地図反映に向けた中間データ出力のしくみを企画中

※過去の集合開催時の様子

第3回推進会議(12月1日)  
・7市町の各データセットの共通整備項目のすり合わせを実施  
→一部を除いた標準データセットの公開に向けて  
第4回(3月15日)で最終確定する予定

便利地図はGoogleMap投影用データの変換プログラムを構築中(Mapへの投影は当面手動で実施)

市保有のオープンデータ(標準データセット書式) → プログラム(構築中) → GoogleMap投影用データ(CSV) → GoogleMap

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画										
取り組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月				
<b>8 ICT支援施設(DRPC)利用促進</b> ・R4: 次世代デジタルクリエイター育成、教職員向けプログラミング研修他の実施 ・R5: 上記の継続推進		・情報政策課 ・デジタルパークリサーチセンター		次世代デジタルクリエイター育成 教職員向けプログラミング講座 少年院向けプログラミング実習				・各講座の延べ参加者数 →Seto CG Kid's Program:116人 →CG Kid's Advance:93人 →教職員向けプログラミング研修:47人 ひとり親家庭向けエクセル講座					次世代デジタルクリエイター育成(Seto CG Kid's Program・CG Kid's Advance開催) 教職員向けプログラミング研修			

**次世代デジタルクリエイター育成**

Seto CG Kid's Advance カリキュラム 6期生募集

日程	内容
第1回 7月30日 10:00~16:00	小学生向けの講座「第13回Seto CG Kid's Program」との共同開催 会場:瀬戸市デジタルリサーチパークセンター
第2回 8月6日 13:00~16:30	講義 中島みるく氏「漫画家という職業について」 実習 3Dキャラクター制作
第3回 9月3日 13:00~16:00	講義 古賀真氏「モーションキャプチャーの過去・現在・未来」 モーションキャプチャースタジオ見学(オンライン参加可) モーションキャプスタジオ55(名古屋)を訪問 抽選でモーションキャプチャー体験
第4回 9月24日 13:00~16:30	講義 岩木勇一郎氏「エンタメxデジタル デジタルコンテンツ産業の未来」 実習 3DCG作品制作(モデリング)
第5回 11月5日 13:00~16:30	講義 北瀬智之氏「ICTを活用した防犯対策」 実習 3DCG作品制作(アニメーション)
第6回 12月3日 13:00~16:30	講義 安田孝美 教授・水野慎士 教授「デジタルコンテンツ実績紹介」 実習 3DCG作品制作(動画の作成・編集)
第7回 3月24日	Seto CG Kid's Program & Advance完成記念イベント

<第1回 SetoCG Kids's プログラム>

<モーションキャプスタジオ55見学>

参加者数(受講申込み)

119人  
↓  
195人

メタバースの「バーチャル瀬戸」でまちの活力をUP!

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画				今回ご報告対象期間									
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス				6月	9月	12月	3月				
<b>9 デジタルデバйд対策</b> ・R4: DRPC地域ICTサポーター育成・高齢者デジタルデバйд対策の推進 国のデジタル活用支援推進事業の利用 ・R5: 上記の継続推進		・まちづくり協働課 ・デジタルパークリサーチセンター ・協力団体 ・情報政策課		DRPC地域ICTサポーター育成(公民館スマホ講座) 高齢者デジタルデバйд対策 デジタル活用支援推進事業利用				・各講座の開催回数 →スマホ講座:18回(まち協補助+民間団体) →「スマホコ・チになろう!」講座:6回(NPO) →公民館向けスマホ教室:4回(DRPC) →デジタル活用教室:14回(デジ活事+GCTV)				DRPC地域ICTサポーター育成(公民館スマホ講座) 高齢者デジタルデバйд対策推進(協力団体と連携/令和5年度瀬戸まちの課題解決応援補助金による) 国のデジタル活用支援推進事業の利用(協力団体と連携)							

## 公民館向けスマートフォン操作講習会の開催

### 3地域で講習会を開催

開催日	開催場所	講習内容	参加者数	サポーター数
9月14日(木)	本地会館	カメラ基本操作、QRコード操作	12名	6名
9月28日(木)		LINE操作	10名	6名
2月6日(火)	西陵地域交流センター	カメラ基本操作、QRコード操作	10名	2名
2月13日(火)		LINE操作	10名	2名
2月6日(火)	萩山公民館	カメラ基本操作、QRコード操作	21名	2名
2月13日(火)		LINE操作	15名	3名

※地域のNPO様のご協力(講師)を得て実施

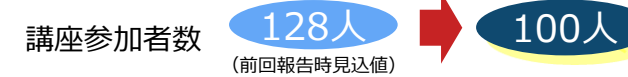
### 講座参加者数



地域団体スタッフが講習会サポーターとして参加  
サポーター数計:11人

## デジタル活用支援の講習会実施

	定員	参加数	場所
10月2日(月)	16名	14名	西陵地域交流センター
10月16日(月)	16名	9名	西陵地域交流センター
11月6日(月)	16名	13名	下品地域交流センター
11月20日(月)	16名	9名	水野地域交流センター
12月4日(月)	16名	16名	新郷地域交流センター
12月18日(月)	16名	7名	品野台地域交流センター
1月15日(月)	16名	16名	萩山公民館
1月22日(月)	16名	16名	山口公民館



教室・講座

スマートフォン活用講座  
 アプリシティー・ブルテレビ  
 ☎ 0120-150-676

A講座 10月2日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 B講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 C講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 D講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 E講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 F講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 G講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 H講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 I講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 J講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 K講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 L講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 M講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 N講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 O講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 P講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 Q講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 R講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 S講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 T講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 U講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 V講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 W講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 X講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 Y講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
 Z講座 10月16日(月) ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画													
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス				6月	9月	12月	3月				
<b>10 メタバース「バーチャル瀬戸」を活用した地域振興</b> ・R4: 「バーチャル瀬戸」の開発と整備運営、公開イベントの開催 ・R5: 「バーチャル瀬戸」を各組織・団体で共同運用するスキームの企画		・情報政策課 ・バーチャル瀬戸を活用する原課・協力団体		「バーチャル瀬戸」開発 整備運営 公開イベント開催 デジタル田園都市交付金対応				・「バーチャル瀬戸」の延べ来訪者数 →アバター(仮想人物):約7,900人→(同一来訪者数:4,002人) ・「バーチャル瀬戸」の紹介・情報発信 →新聞・ラジオ報道、国のデジ電事例掲載の5件、自治体・民間企業の問合せ多数				バーチャル瀬戸の運営(CG Kid's連携等)・デジタル田園都市交付金の対応 公開イベント・公告の一般募集 共同運用スキームの企画(構成員の一般募集) 公開イベント開催							

## Seto CG Kidsイートにおける「バーチャル瀬戸」の活用

7月30日に「Seto CG Kid's ProgramとAdvance」を開催、愛知県警と連携しバーチャル瀬戸内に設置する「こども警察署」の制作を体験していただいた。

参加者募集 無料  
 市内の全小学校にご案内  
 7月30日(日) 午前10時~午後4時  
 対象:小学生  
 会場:デジタルリサーチパークセンター  
 完全無料イベント 毎年3月24日に開催します

同一来訪者数(アバター)  
**約7,500人**  
 開設以来の延べ来訪者:13,733人

## 新プラットフォーム「Spatial」の運用

11月12日にバーチャル瀬戸をリニューアルオープン。PC版では、従来必要だったユーザ登録やインストールの手間がなくなり、ブラウザ経由で直接利用できるようになったことで、ユーザがより簡単にサービスにアクセスできるようになった。

11月12日 オープン1周年記念イベント

2月4~14日 バレンタインウィーク

延べ来訪者数(Spatial)  
**約3,200人**

## 今後に向けた課題

- CGキッズ受講生が運営側として参画できるプログラムの企画
- 商業・観光振興に向けた民間企業やNPO等との共同公開イベント開催の枠組みの企画

メタバース内の「パーティせと」に企業紹介ブースをオープン予定



重点取組み事項

令和4年度(2022)実績

令和5年度(2023)計画

今回ご報告対象期間

取組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)

推進課/関係課

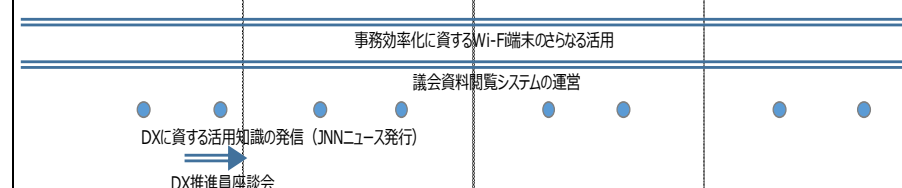
6 9 12 3 具体的な実施事項・トピックス

6月 9月 12月 3月

11 Wi-Fi環境整備

・R4: 本庁Wi-Fi端末の配布、庁外施設Wi-FiのAP敷設・端末の配布、議会資料閲覧システムの展開(ペーパレス化)、ICT活用知識の啓発  
 ・R5: 事務効率化に資するWi-Fi端末のさらなる活用

・Wi-Fiを利用する原課  
 ・情報政策課



公立保育園へのWiFi端末展開



用途: オンライン会議、登園等管理システム利用の代替機、写真撮影、プレゼンテーション投影、等

保育園Wi-Fiに接続する端末の運用マニュアルを整備して主管課(保育課)に共有、一部の園に同行して操作説明を実施

保育システム端末(iPad)接続設定

Wi-Fi端末(Surface)接続設定

DX推進員座談会の開催

※写真はR4年度開催のものです

【第1回出席者】6/19~26  
 13回・48人

<原課から構築を要請されたOCR案件>

- ・実装済み(運用中) → 項番16で説明
- ・国保年金課: 「高額療養費支給申請書」
- ・「診療報酬等請求内訳書」
- ・斎苑: 「死体火葬許可証」
- ・教育政策課: 「定期券交付申請書」
- ・健康課: 「肝炎ウイルス検診票等」
- ・スポーツ課: 「施設利用申込書」

【第2回出席者】2/19~21

次第 13回・37人

- 1 瀬戸市DXの取組み状況(トピックス)
- (1) 瀬戸市LINE公式アカウントの運用
  - (2) 配布箱確認のしみの試行
  - (3) メタバース「バーチャル瀬戸」の活用
  - (4) AI-OCRによる業務の効率化
  - (5) RPAによる業務の効率化
  - (6) DX推進のベースナレッジ(JNNより)
- 2 行政サービス提供の最適な形をめざして
- 3 質疑・意見交換(各課の課題認識など、自由関連に!)



わたしたちの行政サービスをとりまく情勢(DX関連)

- ・国内人口の減少
  - サービスを提供する働き手の確保が困難に
- ・デジタル化のさらなる進展
  - マイナンバーカードの普及
    - ・利活用の機会提供がより求められる
  - 行政基幹システムの標準化・共通化
    - ・クラウドベースで行政情報をよりダイナミックに活用する機会/必要性が拡大
  - DXを加速する良いツールの普及
    - ・OCR、RPA、生成AI等により事務の効率化が進展

DX活用知識発信(ニュース発行)

PCやフォルダ操作等の技術情報を展開(JNNニュース発行回数)

4回

7回

将来対応が求められるであろうフロントヤード改革(行政窓口DX)について、国の指針や他自治体の動向を情報共有

行政サービス提供の最適な形をめざして

これまで: 瀬戸市も窓口のサービス向上に鋭意対応中(取組みの例)

今後さらに対応して余力があると考えられるDX領域: 窓口DX ~ フロントヤード改革 ~

書かせない 待たせない 迷わせない 行かせない

自治体フロントヤード改革が目指すもの

コンセプト

- ① マイナンバーカードの活用で住民との接点の多様化・充実化(※2に付随)
- ② データ対応の徹底
- ③ 庁舎空間は、居住者の接点の場から多様な主体との接点の場へ

イメージ

市民課: 異動に関する各種申請書の作成補助システム運用、住民票等の各種証明発行申請書の作成補助システム運用、住民票等のコンビニエンスストア多機能端末からの発行、本庁窓口証明状況のネット発信(国保年金と共用)、証明書発行手数料のキャッシュレス決済運用

高齢者福祉課: 認定申請等の介護関係手続きのオンライン対応(マイナンバー)

子ども未来課: 児童手当等の子育て関係手続きのオンライン対応(マイナンバー)

まちづくり協働課→関係課: 外国人住民向け窓口多言語サービスの導入、活用

保育課: 園の見学申請のオンライン対応、ネットによる保護者連絡システム運用(キッズビュー)

社会福祉課: 窓口担当者の発着の即時手帳表示(試行評価中)

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間			
取り組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月
<b>12 Web会議環境整備</b>		・オンライン会議を行う原課 ・情報政策課						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド会議機器の延べ利用回数 →保育課、税務課、国保年金課等:11回</li> <li>→会議音声からのテキスト化の試行:7回</li> </ul>				

### 多人数配信環境の導入

Zoom Webinar 導入実績

1件 (左記内容)

Zoom Webinar 配信実績

Zoom Webinar 配信実績

### 会議音声をテキスト化するシステム (議事録文字起こし) 導入・利用

①音声ファイル投入

②システムが自動で文字起こし

③CSVで取出し(DL)

利用回数・投入音声時間数

99回・143時間

205回・277時間 (30課)

重点取り組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画						
取り組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス	6月	9月	12月	3月
<b>13 テレワーク環境整備</b>		・テレワーク端末を利用する原課 ・情報政策課 ・火事課						<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク端末の延べ予約時間数 →32,590時間/20台 (1日24時間×365日ベースで占有率は約19%)</li> </ul>				

### テレワーク用端末の利用状況

【参考：市役所テレワーク端末の接続方式】

庁舎

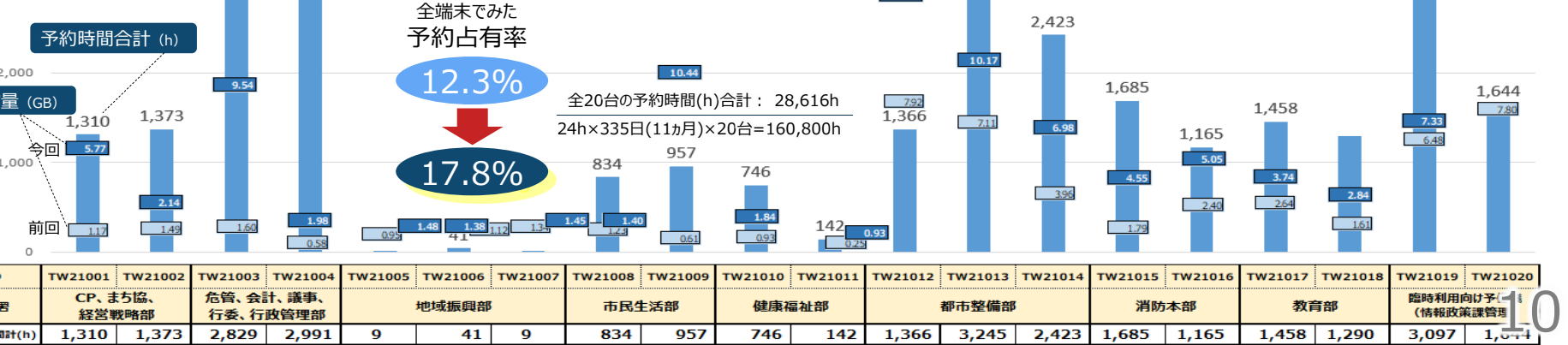
自宅から外出

自家用PC (持ち)

テレワーク端末

インターネット経由(NTTの地域ネットワーク)

WiFi接続



重点取組み事項		令和4年度(2022)実績					令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間			
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス		6月	9月	12月	3月
<b>14 文書管理システム(電子決裁)展開</b>		行政課 全課						・ファイリングシステムによる文書の検索性向上 →目的文書の平均到達時間(例) A課11.9秒、B課9.1秒、C課10.1秒		ファイリングシステム運用		文書管理システム全庁展開・運用	

### ファイリングシステムを基軸とした文書管理システム(電子決裁)の展開

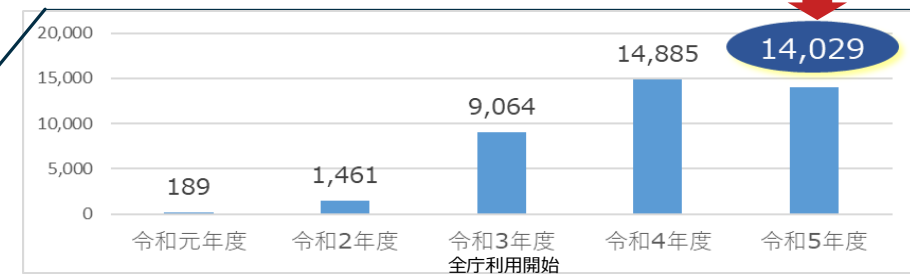
#### ■ファイリングシステム(従来の紙文書の分類/保存)

～BSフォルダ(左写真)により文書を3階層で分類～

#### メリット

- ・事務効率化(検索時間・手間の短縮)
- ・組織的な事業管理の強化(担当外も状況把握)
- ・文書ライフサイクルの厳格化(作成～廃棄の適正化)

#### ■文書管理システム(電子文書で回議・決裁/分類/保存)

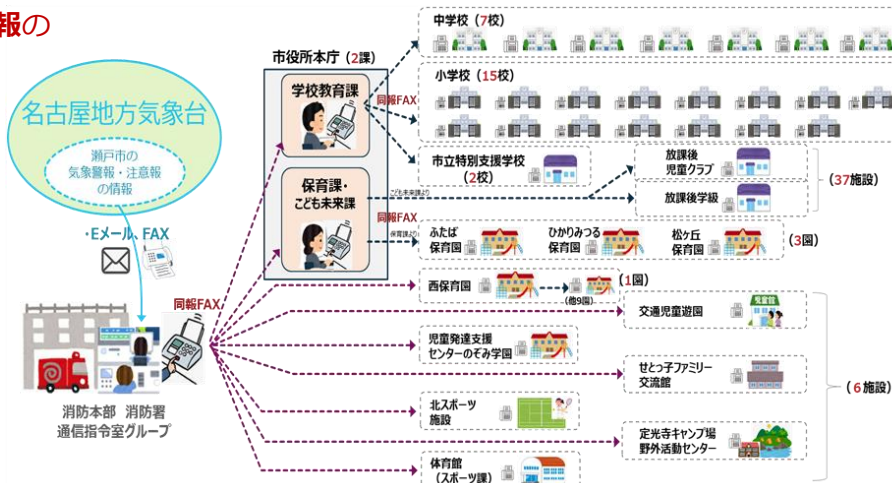


重点取組み事項		令和4年度(2022)実績					令和5年度(2023)計画						
取組み概要(R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス		6月	9月	12月	3月
<b>15 行政実務へのRPA適用</b>		対象業務に適用する原課 情報政策課						・RPA操作研修の延べ受講者数 →学校教育課、水道課、消防本部等:10人 ・RPA稼働業務数 →4業務(人事課、学校教育課)		業務への適用支援(外部)ソース・スキルの活用含む)とモデルケース等の展開 前回第2回協議会でご報告の事例①:財務会計システムの入出力操作と②:市HP記事の退避(は構築完了につき割愛いたします)			

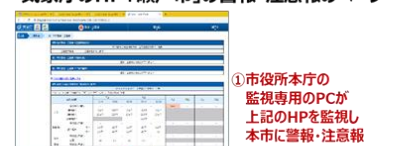
### Before: 発表の都度毎回FAXで展開

### After: 自動監視により発表の都度、拠点に展開

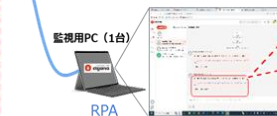
気象警報・注意報の自動展開(消防本部+学校等各拠点)の事例



#### ・気象庁のHP「瀬戸市」の警報・注意報のページ



①市役所本庁の監視専用のPCが上記のHPを監視し本市に警報・注意報が出ていたら...



③通知をタップして警報・注意報のページを開いて確認



本しくみによる効果(推計)

FAX用紙: 約14,600枚

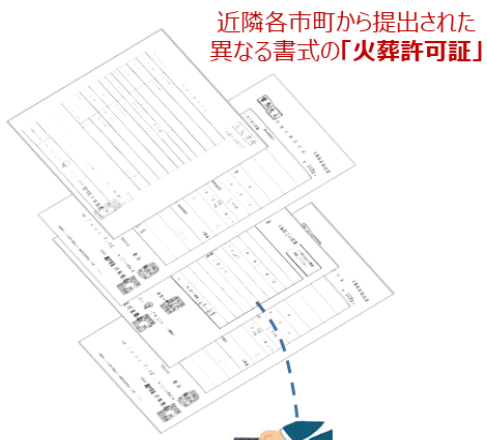
※瀬戸市における警報注意報の通知回数の年平均約200回と拠点73箇所をベースとした推計値。  
※他にこれに伴うFAX通信費、FAX送信の手間(工数)などが相応に削減できましたが、これらも上記同様に推計値となるため割愛。

重点取組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画			今回ご報告対象期間			
取組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	6月	9月	12月	3月	
<b>16 AI-OCR適用</b> *OCR...Optical Character Recognition :画像データを光学文字認識によりデータ化すること ・R4: 機器導入と機能確認、庁内ニーズの確認 ・R5: 業務適用支援の強化とモデルケース等の展開		・対象業務に適用する原課 ・情報政策課		専用スキャナ・システム導入 マニュアル提供・ユーザー登録 試行			庁内ニーズ等確認 (DX推進員座談会)					
				具体的な実施事項・トピックス ・AI-OCR利用登録課数 → 税務課、高齢者福祉課等: 7課 ・AI-OCR試行数 → 所得税申告書の1件								業務への適用支援 (外部リソース・スキルの活用含む) とモデルケース等の展開

**適用・構築の事例**

瀬戸市斎苑の「火葬許可証」のデータ化

**Before : 各市町の許可証の情報をエクセルに手入力**

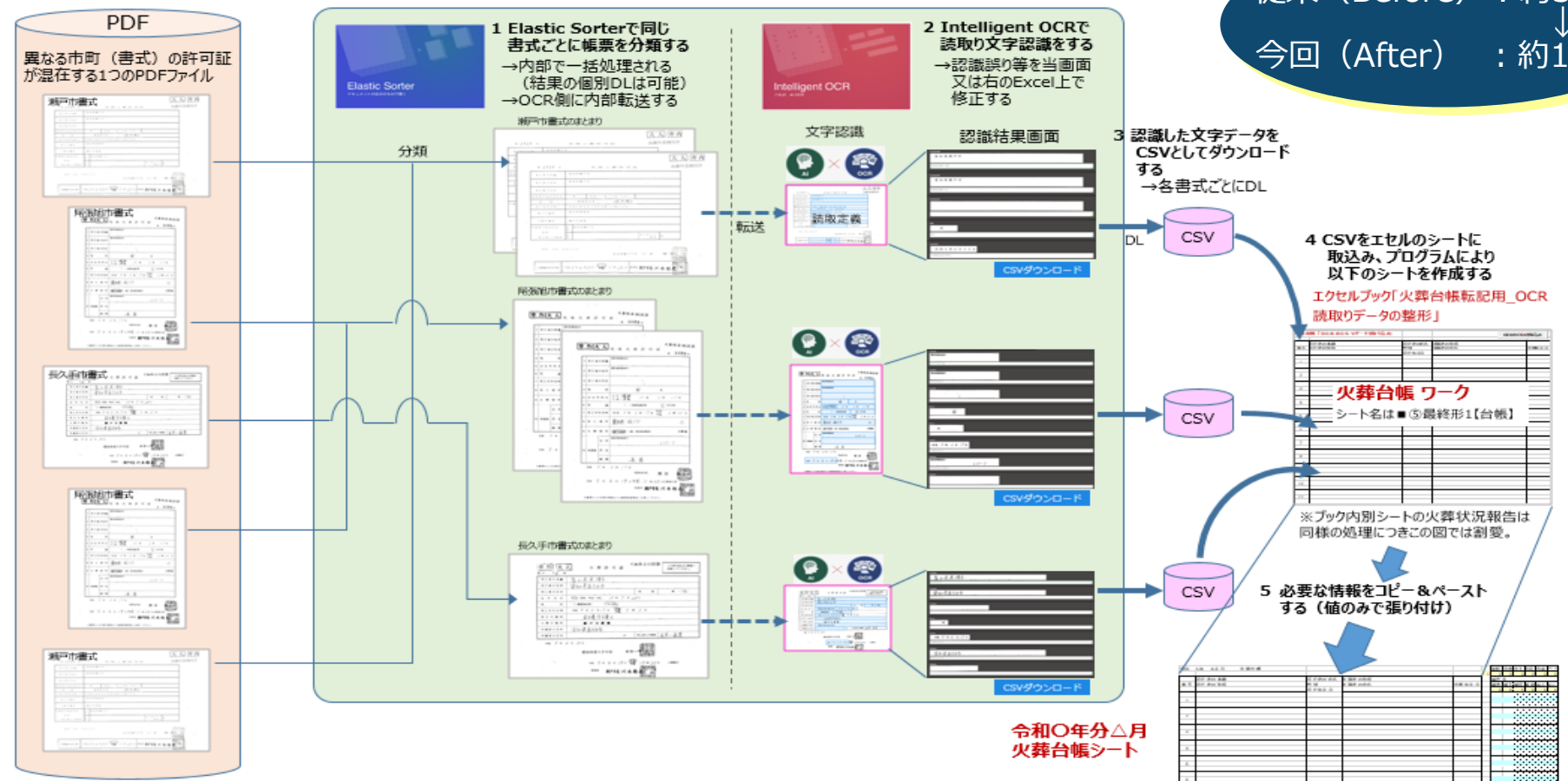


所要時間は平均 **3時間程度/1日**

台帳・報告書

No.	氏名	性別	生年月日	死亡年月日	火葬年月日	火葬場所	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

**After : PDFにした許可証を読み取りデータ化してエクセル投影用シートを自動作成**



本しくみによる効果 (推計)

従来 (Before) : 約3時間  
 ↓  
 今回 (After) : 約1時間

重点取組み事項		令和4年度(2022)実績				令和5年度(2023)計画				今回ご報告対象期間			
取組み概要 (R4年度実績・R5年度計画)		推進課/関係課		6	9	12	3	具体的な実施事項・トピックス		6月	9月	12月	3月
<b>17 システムの標準化・共通化</b> ・R4: 移行体制の構築とシステム導入準備 (バンダーヒーリング) ・R5: 移行プロジェクト推進 (フィット&ギャップ調査・作業洗い出し・移行)		・システムを利用する原課 ・情報政策課		動向と対応方針の庁内共有 情報収集・バンダーヒーリング 推進体制構築				・移行対象システム数・対象課数 →住基台帳、国保年金等:20システム →市民課、税務課、国保年金課等:9課		住民基本台帳システム等のフィット&ギャップ調査・移行作業洗い出し 文字拘定作業 (文字コード・変換定義の作成)			

### 推進体制とアクション



9/26 第1回委員会を開催

10/13 メンバー選定  
11/12 第1回会議  
1/17 第2回会議

### 先行の個別プロジェクトの推進

先行して標準化システムを適用する  
住記・印鑑登録業務 (市民課) で  
Fit&Gap分析\*作業を推進中

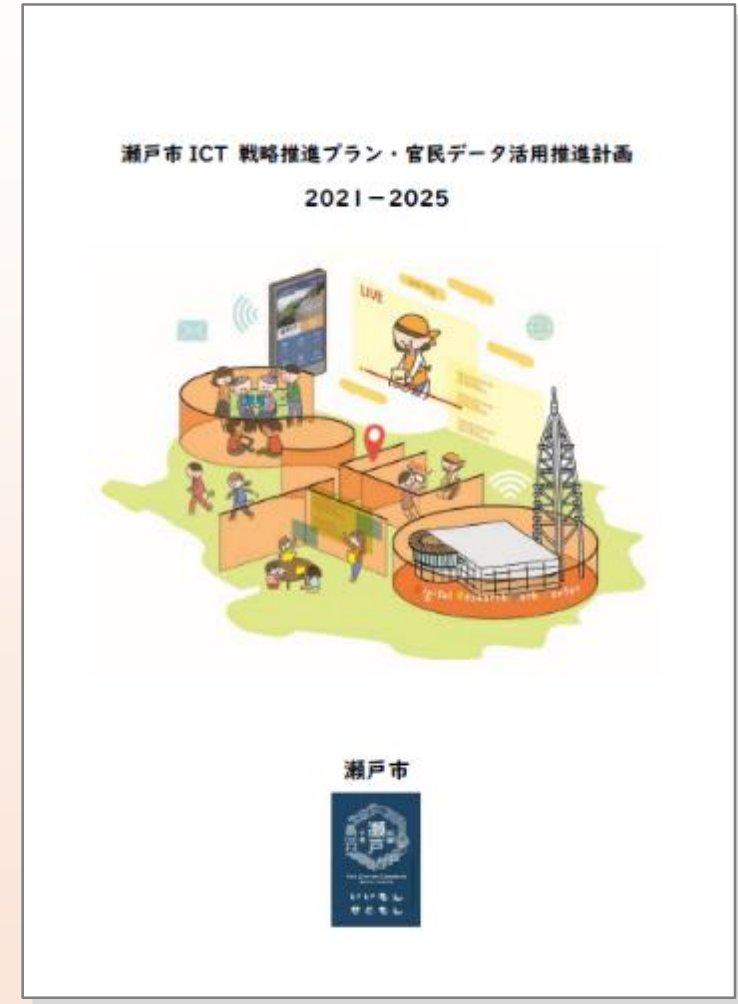


標準化対応作業	
担当課 (市民課)	
10月17日	住記・印鑑登録登録Fit & Gap分析*作業に関する説明
12月15日	住記・印鑑登録Fit & Gap分析作業 (キックオフ会議)
12月20日	住記・印鑑登録Fit & Gap分析作業 (第1回会議)
1月10日	住記・印鑑登録Fit & Gap分析作業 (第2回会議)
1月29日	住記・印鑑登録Fit & Gap分析作業 (第3回会議)
3月5日	住記・印鑑登録Fit & Gap分析作業 (第4回会議)

\*新旧のシステムを比較し旧システムの運用や操作、アウトプットが新システムでも継承できる事項とそうでない事項を事前に洗い出し、後者に対して対策を検討する作業。



## 2 「瀬戸市ICT戦略推進プラン・ 官民データ活用推進計画」 の進捗状況



# 基本目標「①まちの活性化」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況	計画時指標値					
				単位	指標値				
					R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
(a) ICT人材 の育成	<b>次世代クリエイター育成</b> ※本市の新たな産業の創出に向けた、CGコンテンツやプログラミング等のデジタル技術による創造・制作分野における若年層（子ども）の発掘・育成。	情報政策課	◆講座参加者数：195人 ◆受講者の満足度：95% ◆受講者の学習継続傾向：93%						
				講座参加者数	人	352	300	300	300
				受講者の満足度	%	100	90	90	90
			受講者の学習継続意向	%	96	90	90	90	
	<b>DRPC市民向けIT講座</b> ※市民のICT活用リテラシー向上に向けた、デジタルリサーチパークセンターの指定管理者によるPC、スマートフォンSNS、GIS（RESAS）等の講座。	情報政策課	◆受講者の満足度：98.3% ◆受講者の学習継続傾向：97.7%						
				受講者の理解度	%	86	80	80	80
				受講者の学習継続意向	%	84	80	80	80
	<b>今こそICTを使いこなそう！</b> ～自宅で学ぶITスタディブック～ ※市民の情報格差是正・情報リテラシー向上に向けた名古屋学院大学生組織によるIT学習教材の提供。	まちづくり協働課	(今年度は助成金の申込み申請は無し)	---	(指標設定無し)				







# 基本目標「②生活の利便性向上」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況(上期終了時)	計画時指標値				
				単位	指標値			
					R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値
(a) 子ども・子育てサービスの推進	子ども支援サイト「せとっ子ねっと」 ※子ども・子育てを中心とした情報の取得の利便性向上に向けた、Webサイト(HP)による関連情報の発信。	こども未来課	◆サイトトップページのアクセスユーザー数：4,569人	ユーザー	6,259	4,500	4,500	4,500
	児童館情報配信 ※せとっ子ファミリー交流館と交通児童遊園の周知と利用者拡大に向けた、SNSによる情報発信。	こども未来課	Instagramフォロワー数： ◆せとっ子ファミリー交流館：559人 ◆瀬戸市交通児童遊園：458人	人	15	150	175	200
	子ども・子育て関連講座申込みの電子化 ※せとっ子ファミリー交流館・交通児童遊園の子ども・子育て講座の申込みの簡便化に向けた、申込手続きの電子化(オンライン化)。	こども未来課	せとっ子ファミリー交流館： ◆父親向け講座の参加者数：193人 ◆小・中・高校生の学び・体験活動利用人数：455人 交通児童遊園： ◆父親向け講座の参加者数：184人 ◆小・中・高校生の学び・体験活動利用人数：667人	人	65	70	80	90
	病児保育施設「おひさま」会員登録電子申請 ※病児保育施設の利用の簡便化に向けた、「瀬戸市病児保育施設利用登録申請」の電子化(オンライン化)。	こども未来課	◆新規登録件数に占める電子申請割合：93.0% (手続総件数：114件) 窓口でQRコード掲載のチラシ配布や電話での問い合わせ時に電子申請を案内した。	%	87.2	100	100	100
	子ども会補助金申請 ※「瀬戸市子ども会活動助成事業補助金交付申請」の簡便化に向けた、申請の電子化(オンライン化)。	こども未来課	◆子ども補助金電子申請比率：100% (手続総件数：12件) 子ども会補助金申請説明会時の説明や、広報せとでのQRコード掲載により、電子申請の周知に努めた。	%	92.3	95	100	100

# 基本目標「②生活の利便性向上」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値					
				単位	指標値				
					R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
(b) 高齢者・ 障害者 への支援	<b>高齢者災害時・緊急時対応見守りシステム構築</b> ※一人暮らし等の在宅高齢者に災害時・救急時の対応のICTを活用した見守りシステムの導入・運用。	高齢者福祉課	<b>◆システム登録件数：70件</b> 団地での集会など高齢者が集まる場で周知活動を実施し、普及啓発を行った。	見守りシステム登録件数	件	0	500	1,000	1,000
	<b>もーやっこジュニアネットワーク構築</b> ※医療的ケア児等の支援に向けた、保護者・看護師・養護教諭・主治医・訪問看護ステーション間の情報共有システムの導入。	社会福祉課	<b>◆瀬戸旭医師会とネットワークに係る業務委託契約を締結</b> <b>◆4月：操作説明会実施</b> <b>◆8月：第1回瀬戸市医療的ケア児等支援協議会にて状況報告</b> ※指標値を見直し ・「保護者の利用者数」 → 「瀬戸旭もーやっこネットワーク」に登録した医療的ケア児の登録者数 R4：33→30 R5：33→32 ・関係機関の登録者数 → 削除	瀬戸旭もーやっこネットワークに登録した医療的ケア児の登録者数	人	—	—	30	32
	<b>NET119緊急通報システム</b> ※音声（電話）通話が困難な人の119番通緊急通報の利便性向上に向けた、専用アプリの普及。	消防署	<b>◆登録者数：15人</b>	--- （指標設定無し）					
	<b>非来館型図書館サービス（電子書籍貸出事業）</b> ※図書館の利用促進に向けた、館外から電子図書を借りることができるシステムの導入。	図書館	<b>◆電子図書貸出数：10,419冊</b> 参考）電子の利用者数：10,440人（延べ） 蔵書数：3,932冊 その他参考）貸出者数全体：143,973人（延べ） 貸出冊数：483,585冊	電子書籍貸出数	タイトル	—	4,000	4,000	4,000

# 基本目標「②生活の利便性向上」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値					
				単位	指標値				
				R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値		
(c) 防災、 防犯の 推進	<b>安全安心情報メール</b> ※市民の安全確保に向けた、緊急情報、防犯・防火情報の携帯電話等への電子メール配信サービスの運用。	危機管理課	◆メール受信登録者数：10,273人 ◆メール配信件数：238件	登録者数	人	5,081	7,000	9,000	11,000
	<b>コミュニティFM局難聴解消支援</b> ※防災情報の伝達手段の一つとして活用している「コミュニティFM」の受信不良区域の解消に向けた、中継局の整備等。	危機管理課	◆防災訓練の参加世帯数：26,406世帯 ◆せとまちラジオ放送回数：46回	せと市民総ぐるみ防災訓練への参加世帯	世帯	10,612	15,000	20,000	25,000
	<b>市町村防災支援システム</b> ※報道を含む関係機関での災害情報共有に向けた、県の防災情報システムと接続・連携するシステムの円滑な運用。	危機管理課	◆システム各部操作研修及び災害時の稼働回数：4回	各部操作研修並びに災害時の操作回数	回	10	10	10	10
	<b>救急受診アプリ（愛称「Q助」）</b> ※傷病・疾病の症状・症候に基づく救急車要請判断や医療機関検索の利便性向上に向けた、全国版救急受診アプリ（消防庁提供）の展開。	消防署	市の公式ホームページによるアプリのダウンロード及びWeb版の使用を啓発。 広報せとにて救急車を呼ぶことに迷った場合に「Q助」を利用することを普及し、救急車の適正利用を啓発。 せとまちナビの「防災・救急」項目に全国版救急受信ガイド「Q助」のリンクを掲載。	---					(指標設定無し)

# 基本目標「③ICT基盤の強化」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値				
				単位	指標値			
				R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
(a) デジタル シティの 推進	<b>申請書作成支援システム導入</b> <b>（証明申請書受付支援システム）</b> ※市民の住民票、戸籍証明書、印鑑登録証明書等の発行手続きの簡便化に向けた、申請書作成支援システムの導入。	市民課	実績値を当該機で合算計上できていないが、現在は1日あたり10件程度であると推計。	人	0	19,000	22,000	25,000
	<b>異動受付支援システム導入</b> ※市民の転入時の住民異動手続きの簡便化に向けた、申請書作成支援システムの導入。	市民課	<b>4,342件</b> （12月末時点）	件	0	10,000	11,000	12,000
	<b>いいもん・せともんポータルサイト構築</b> ※事業者の新たな販売方法や販路拡大及び本市の「ものづくりのまち」としてのシティプロモーション推進に向けた、情報発信ポータルサイトの運営。	ものづくり 商業振興課	◆ポータルサイトへの参加事業者数： <b>46事業者</b> 募集内容の見直しを行い、ツクリテバンクや瀬戸焼振興協会向けに登録周知を行った。	人	0	50	55	60
	<b>オクトーバー・ラン&amp;ウォーク2022</b> ※市民の健康増進・体力向上に向けた、無料アプリの利用によるバーチャルな全国歩行・走行協議会への参加。	スポーツ課	◆瀬戸市参加者数： <b>190人</b> ◆全国順位： <b>76位／319自治体</b> （内、歩数0歩の自治体49）	人	131	—	—	—

# 基本目標「③ICT基盤の強化」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値					
				単位	指標値				
					R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
(a) デジタル シティの 推進	<b>ICTを活用した健康づくり推進</b> ※市民の健康増進・地域活性化に向けた、ICTの活用による健康関連情報発信・サービスの充実化。	健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆配信動画数：1本（子宮頸がん検診）</li> <li>◆オンライン講座開催回数：7回（女性のためのピラティス教室：6回、アレルギーっ子の会in瀬戸：1回）</li> <li>◆オンライン相談件数：0件</li> <li>◆その他：電子申請システム：28件</li> <li>◆RPA利用：女性の健診結果入力</li> </ul>						
				動画配信本数	本	0	2	2	2
				オンライン講座の開催回数	回	0	1	1	1
				オンライン相談件数	件	0	5	5	5
	<b>MaaSの推進</b> ※交通機関運営の効率化・市民の異動の利便性向上に向けた、移動サービスにおける新たなスキームの構築。	都市計画課	愛知県ITS推進協議会のMaaS推進会議へ参画し県内市町と情報共有を図るとともに、名古屋東部丘陵地域及び知多地域を中心とする地域を対象としたMaaSアプリ「my route」社会実験（9～2月中旬）に参加している。今年度のアプリについては、デジタルチケットの拡充をされており、瀬戸市においては愛知環状鉄道の土日1日乗車券を購入すると瀬戸蔵等の施設の特典クーポンが利用が可能となっている。（1日あたり平均利用者：約239人）	---	（指標設定無し）				
	<b>スマートフォン用アプリ「せとまちナビ」</b> ※地域課題解決や市民生活向上に向けた、暮らしに役立つ便利な機能を搭載した市民参加型アプリ「せとまちナビ」の普及促進。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アプリ起動回数：22,841回（9月末時点）（新規ダウンロード数は481DL）</li> <li>◆9月30日をもってアプリを終了し、同機能を瀬戸市LINE公式アカウントへ移行。</li> </ul>						
				アプリ起動回数	回	29,092	30,000	31,000	32,000
	<b>瀬戸市フリーWi-Fi</b> ※行政サービス向上や災害時情報手段の充実化に向けたWi-FiAPの公共施設や民間事業者への設置／利用促進。	情報政策課	◆Wi-Fi利用認証回数：36,532回（55拠点・69AP／期間はR5年4月～9月。R5年10月～R6年3月の実績は4月中旬に取得予定）						
				認証回数	回	104,652	100,000	100,000	100,000

# 基本目標「③ICT基盤の強化」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値					
(b) 官民データの活用	<b>オープンデータ・ビッグデータ</b> ※地域振興に向けて近隣7市町と名古屋大学のご協力を進める公共情報（高齢者福祉施設、医療施設等）のデータ整備と公開。	情報政策課	◆OPデータ民間事業者活用数： <b>1事業者</b>		単位	指標値			
						R2実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値
				民間事業者等による新規活用累計数	件	1	2	3	4
(c) 社会保障・税番号制度の活用	<b>各種証明書コンビニ交付の拡充</b> ※市民の利便性向上に向けた、マイナンバーカードによるコンビニエンスストア多機能端末からの発行証明書種類の拡充。	市民課・ 税務課	◆各種証明書のコンビニ交付数： <b>18,414通</b> ※1月末時点		単位	指標値			
						R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値
				各種証明書のコンビニ交付数	通	1,945	2,350	3,350	3,700
	<b>マイナンバーカード普及促進</b> ※行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会実現に向けた、社会基盤となるマイナンバーカードの普及（取得）の促進。	マイナンバー 制度 プロジェクト チーム	◆マイナンバーカード交付枚数率： <b>79%</b> （101,264枚）※1月末時点		単位	指標値			
						R2.8実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値
				交付枚数率	%	16.5	↗	↗	↗



# 基本目標「④スマート自治体の実現」

施策	事業名・活動概要	担当課	令和5年度進捗状況（上期終了時）	計画時指標値						
(a) 業務の 効率化	<b>RPA</b> ※行政実務の効率化に向けた、PC操作等を自動化するしよみの推進	情報政策課	◆RPAを導入した累計業務数：9件		単位	指標値				
						R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
				RPA導入業務累計数	業務	—	4	8	12	
							指標値			
							R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値
				AIチャットボット応答回数	回	0	12,000	12,000	12,000	
	<b>AIを活用した総合案内サービス（チャットボット）</b> ※行政サービス拡充に向けた、市公式HP等での対話システム運営。	情報政策課	◆チャットボット応答回数：18,374回							
	<b>AI-OCR</b> ※行政実務の効率化に向けた、AIによる文字画像のデータ化ツール/ソフトウェアの利用。	情報政策課	◆AI-OCR業務導入累計数：4件							
						指標値				
						R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
			AI-OCR導入業務累計数	業務	—	—	2	4		
	<b>マイナンバーカード交付予約システム導入</b> ※カード受取りの効率化と混雑回避に向けた受取予約システム運営。	市民課	◆カード新規交付申請者：4,409人 ※1月末時点							
						指標値				
						R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
			カード新規交付申請者	人	3,149	26,400	26,400	26,400		
	<b>図書館セルフ貸出・返却システム導入</b> ※カウンターの非接触化・効率化に向けた、貸出返却システムの導入。	図書館	◆セルフ貸出機利用人数：20,808人 ◆貸出冊数：108,932冊 参考）本館個人貸出者数：83,442人、貸出冊数：368,599冊（貸出者の24.9%がセルフ貸出機を利用）							
						指標値				
						R1実績値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	
			セルフ貸出機利用人数	人	—	3,145	3,145	3,145		
	<b>公立保育園のICT化</b> ※「保育の質」向上に向けた、保育業務のICT化。	保育課	令和4年度に取組完了（以降、不具合の出た運用端末の入替などを適宜実施）。	---		（指標設定無し）				
(b) システムの標準化、共通	<b>システムの標準化、共通化</b> ※行政事務効率化とコスト縮減に向けた行政システム共通化・クラウド化	情報政策課	各課標準化推進担当で構成されるワーキンググループの活動が始動。先行して標準化本番稼働している住記・印鑑業務は順次Fit&Gapを実施中。	---		（指標設定無し）				
(c) 情報セキュリティの強化	<b>情報セキュリティの強化</b> ※マイナンバー利用等セキュリティに配慮した利用の改善。	情報政策課	全庁的な推進体制を構築、R5年4月より情報セキュリティ教育をはじめとした施策を継続推進。	---		（指標設定無し）				



ありがとうございました